

JN-HRD. NET ニュースレター

●運営委員会(8月29日)

今年度第一回運営委員会が8月29日に開催されました。村上事務局長より分科会活動内容の紹介があり、ついで事務局から前回の運営委員会で設置が承認された「原子力人材育成ネットワークの今後の進め方検討W.G」の活動内容紹介と、服部委員長発案の「人材育成戦略の構築」に関する諮問会設置について説明がありました。

原子力人材育成ネットワークの今後の進め方検討W.Gは現在各組織に原子力人材育成に関する諸問題に関してアンケートを行っており、現状を確認して課題、議論すべき事項を抽出し、今後の進め方についてまとめたものを年度内に提出するとの報告がありました。

人材育成戦略の構築に関する諮問会は、原子力人材育成ネットワークの取り組みを一層強化するために、将来を見越したロードマップを作成し、運営委員長ならびに運営委員会へ提案することを目的としております。本諮問会はまだ内容や体制について十分議論が煮詰まったとは言えませんが、原子力産業協会が事務局として活動を開始することが了承されました。

●未来を担う原子力施設見学会(9月6日)

原子力業界へ就職を希望する学生の減少が著しく、将来の原子力技術を支える人材の確保が憂慮されています。そこで原子力人材育成ネットワークではこの対策として将来の進路を決めていない原子力学科以外の学生を主な対象とした新宿発着日帰り原子力施設見学のバスツアーを企画しました。このツアーは参加者に原子力関連技術が発電以外の分野もある広範囲な技術である事と、あらゆる基本的学科を統合して成り立っている奥の深い総合技術である事を知ってもらい、原子力技術に理解を深め魅力を感じてもらうことを目標としました。

当日は関東を中心とした19名の学生が参加し、原子力関連製品の製作現場として日立製作所臨海工場と海岸工場、及び原子力研究施設として原子力機構那珂核融合研究所のJT-60SA改造現場を見学し、参加者達は皆原子力を肌で感じることができました。事前に核融合の資料を渡して予習を課していたため、活発かつ専門的な質問も多く参加者には有意義な見学会になりました。見学後のアンケート結果からも原子力技術に興味が高まった参加者も多く、見学会の趣旨は概ね達成できたのではないかと考えております。

このような活動は直ちに効果が出るものではなく地味な活動ですが、彼らが何かを感じ、何かのきっかけにするために、今後も地道に続けてゆこうと考えております。またこれは皆様のご理解、ご協力の上に成り立つものですので、各企業、機関様へは今後とも是非ご協力をよろしくお願いいたします。

●原子力人材育成国際会議の開催

各国における原子力人材活動状況、課題等について情報共有を行い、我が国原子力人材育成ネットワークと国外関係機関との連携協力関係の構築強化を目的として、ベトナムハノイで原子力人材育成国際会議が開催されます。今年度は効果的、効率的な人材育成の手法がテーマとなり、各国から様々な育成手法とその効果や研修プログラムの共有化等についての発表があります。

ベトナム原子力関係機関から約 30 名、その他 FNCA 関係国を主としたベトナム以外の東南アジア諸国から約 15 名、日本から大学、メーカー、原子力機構から約 10 名、その他 IAEA、ENEN 等、合計約 60 名の参加者により活発な議論、情報交換が行われる見込みです。

*日時 2013 年 10 月 29 日～31 日

*場所 Melia Hotel ハノイ ベトナム

*主催 日本原子力研究開発機構

*協賛 Vietnam Atomic Energy Institute(VINATOM)

●原子力国際人養成コースの開催

将来国内の原子力関係各組織の管理者となることが期待される若手に、我が国及び世界の原子力のあるべき姿を長期的かつ国際的な視野に立って考える機会を与えるとともに、今後の新規導入国に対する我が国原子力産業の展開を担っていく人材の育成に貢献することを目的とした原子力国際人養成コースを昨年引き続き開催します。

本コースは、国内若手技術者・研究者と国内外の技術者が、原子力を取り巻く様々な課題に関する講義、意見交換、発表、交流を全て英語で行います。研修生が自分の言葉（英語）で意見を述べる素地を身に付け、グローバルなコミュニケーション能力を UP させることを具体的な目標とします。

スケジュールは、まず 11 月後半から準備プログラムとして、メール・電話での課題提案・指導、および、オリエンテーリングを兼ねた東京での 1 日研修が行われます。ついで、本コースの要である合宿研修を 12 月に約一週間、福島研修施設にて 24 時間英語漬けの環境で行います。なお本コースの期間、対象、問い合わせ先等は以下の通りです。

*期間 第一部 2013 年 11 月後半～12 月第一週 準備プログラム

第二部 2013 年 12 月 9 日～13 日(5 日間合宿)

*場所 福島県新白河駅から車で約 30 分 British Hills (第二部)

*対象 35 歳くらいまでの大学院修士課程相当の知識を有する学生、技術者等で
大凡 TOEIC で 500 点以上の方

*費用 参加費用は無料、第二部については宿泊費＋食費(概算 65,000 円)、及び会場までの交通費が必要となります。なお学生には交通費宿泊費等が支給されます。但

し一部負担がある場合あり。

*定員 15名（応募者多数の場合は書類選考あり）

*申し込み期限 10月25日まで

*問い合わせ、申し込み先 日本原子力研究開発機構 人材育成センター東京事務所
安藤 e-mail ando.yoko@jaea.go.jp 電話 03-3592-2182